

平成21年度第1回宇都宮市視聴覚ライブラリー運営委員会 会議録

1 日 時 平成21年8月6日(木) 午後2時～午後4時

2 場 所 宇都宮市立東図書館 2階 集会室

3 出席者

〔委員〕 國吉真理子委員, 阿部 靖子委員, 増田 宗夫委員, 小谷 和弘委員,
手塚 好子委員, 山口 康夫委員, 山口 京子委員, 小林 充佳委員,
石川 賢委員 (欠席 大金 武夫委員)

〔事務局〕 横倉視聴覚ライブラリー所長ほか職員4名

4 公開・非公開の別 公開

5 傍聴者 なし

6 議 事

(1) 委員長・副委員長選出

- ・委員の互選により, 小林 充佳委員を委員長に選出
- ・委員の互選により, 石川 賢委員を副委員長に選出

(2) 報告事項

- ①平成20年度視聴覚ライブラリー利用状況及び事業実績について
- ②平成20年度視聴覚ライブラリー予算収支について
- ③平成21年度視聴覚ライブラリー運営目標について
- ④平成21年度視聴覚ライブラリー事業計画について
- ⑤平成21年度視聴覚ライブラリー予算について

(3) 委員提案事項

(4) その他

7 発言の要旨

委員長: (2) 報告事項「① 平成20年度視聴覚ライブラリー利用状況及び事業実績」及び「②平成20年度視聴覚ライブラリー予算収支」について, 関連があるので, 一括して事務局より報告をお願いします。

事務局: 資料に基づき一括して報告

委員長: ただいまの「利用状況及び事業実績」と「予算収支」について, 質問等がありますか。

増田委員: 視聴覚教材及び視聴覚機材の貸出数で, 過去5ヵ年度の統計を見ると順調に増えているが, 18, 19, 20年度の中で19年度が少し減って, 20年度にまた戻っている。何か原因があるのですか。

事務局: 貸出する教材や機材において, 19年度に特に変わった点はなく, 借りる団体

等の事情で、たまたま若干数減少したものと考えております。常連団体のほか、年々、新規団体からの利用もあり、全体的には安定した増加傾向にあります。

國吉委員： 団体別視聴覚教材・機材貸出数で、幼稚園のビデオテープやビデオディスクなど教材貸出数が、小中学校と比べ非常に少ないが、利用しにくい何か理由があるのですか。

事務局： 現在、幼稚園対象のビデオテープなど貸出用教材ソフト自体の数が少ないことが影響していると考えられます。最近、少しずつ DVD 化が進み、貸出できる数も徐々に増えつつありますが、個人向けと違い、みんなで見ることができる著作権上の許諾を得たものでないと貸出せない事情もあります。徐々にではありますが、貸出できるディスクの発売も増えてきており、市でもそれに合わせ購入を増やしているのです。今後、貸出数も増えていくことと思われま

石川委員： 16 ミリフィルムは、今後、益々貴重で大切になってくる。キズや痛みを防ぎ、良い状態に保存していくために、どのような対応をしているのですか。

事務局： 映写ボランティアの協力もあり、本市の 16 ミリフィルムは貸出数で全国でも有数であり注目をあびています。良好に保つため、全ての映写機を改良し、キズがつかないように、間違った操作をすると映写機をストップした上、アナウンスで防止する装置を付けましたので、フィルムのキズや痛みは皆無です。

委員長： 映写ボランティアの立場で付け加えていただくと、返されたフィルムはその都度、機械でクリーニングし、使用後の補修を徹底しています。また、16 ミリ映写機技術者講習会でもキズ防止については、特に厳しく指導しています。

委員長： 他に何か質問はありますか。

各委員： (特に発言等無し)

それでは、続いて、「③平成 21 年度視聴覚ライブラリー運営目標」、「④平成 21 年度視聴覚ライブラリー事業計画」及び「⑤平成 21 年度視聴覚ライブラリー予算」について、関連があるので、一括して事務局より報告をお願いします。

事務局： 資料に基づき一括して報告

委員長： ただいまの「運営目標」、「事業計画」及び「予算」について、質問等はありませんか。

山口(康)： 「運営目標」の中の「1 視聴覚情報及びサービスの充実強化」における「地域映像情報の収集・保存」について、昨年は 80 年程前の本市の様子を写した古い映像の寄贈がありましたが、その後、収集は進んでいますか。

事務局： 収集・保存したい古いフィルムは、空襲で焼失してしまったもの多く、持ち込まれるフィルムは、家族等を映した比較的新しいものがほとんどです。

今後も、8 ミリ映写機の貸出を継続するほか、先日、放映の依頼のあった宇都宮ケーブルテレビへの昔の映像フィルム提供などを通して、市民の皆様呼びかけ、関心を高めていきたいと考えています。

- 山口（京）： 事業は年々高まっている中、機器や機材の老朽化が進んでおり、新規での
委員： 購入は難しく、レンタルで運営している、とのこと。予算が減らされる中、
子どもから大人まで幅広い対象で事業を行っており、今後、予算が増やされ
ると良いなどの感想を持ちました。
- 委員長： 予算の増額は厳しいかもしれないが、これだけの実績を上げていることし
っかり伝え、予算を確保されるよう要望します。
- 事務局： 来年の予算確保に向けて更に努力していくとともに、運営においても効率
的で無駄の無いよう工夫をして参ります。
- 小谷委員： 映写会の際、募金を募り、それを資金としてライブラリーの運営に使うこ
とはできないのですか。
- 事務局： 公立図書館には無料提供の原則があり、ライブラリーでは、この原則に準
じていることから、募金という形でも催事で、お金を取ることは難しいと考
えております。寄付は、何かに使ってほしいという目的寄付があることは承
知していますが、公共団体のライブラリーでは、伺ったことはありません。
現在、ライブラリーの歳入は施設の使用料のみとなっています。
- 小谷委員： 例えば、ライブラリーの運営費に充てる目的で、100円の寄付を受けると
いうことは出来ないのでしょうか。現在、市で規定がないのなら、想定した
条例を作ればよいと考えます。
- 寄付という形でも、料金を取るとなると民業への圧迫という問題もありま
すが、運営が苦しければ、特定の方へのサービスなのだから、来た方に募金
という形で呼びかけ、運営費を賄うことは問題ないのではないのでしょうか。
- 現在、学校への現金での寄付については、検討を行っているところであり、
寄付に対する考え方が変わってきています。
- 事務局： 催事主催が公共団体でなければ寄付は可能ですが、市主体だと寄付という
形でも、お金をいただくことは現段階では難しいと考えます。
- そのため、スタジオなどの使用料の歳入を増やす努力が必要であり、その
ための研究を更に進めて参ります。
- 小谷委員： ライブラリーでの使用料は、ライブラリーの裁量で使えるわけではなく、
一括して市の歳入となるのでしょうか。
- 事務局： そのとおりですが、歳出への充当という形で予算編成には反映されます。
- 小谷委員： 例えば、指定管理者制度なら有料化も可能になりますか。
- 事務局： 管理は委ねるが、主体は市なので有料にするという考えにはなりません。
- 小谷委員： いずれにしても、予算が減っていくと寄付などなんらかの形で収入を得ら
れるような試みや指定管理者制度など運営を維持していく手段を講じないと
将来の運営に支障が出てくると考えます。
- 事務局： これまでどおりのサービスを続けていくためには、どこにウエイトを置き、
何か効果的か組み立てていく必要があります。寄付については、常時ある程度

のレベルで継続性が確保できないと難しいと考えております。

委員長： 事務局には、円滑な運営のため、更に財源の確保に努めていただきたいと思います。

増田委員： 開設以来、年数を経て建物も老朽化しているとのこと。早めに手を打つという事で、対策の一つとしてボランティアの活用などは考えられないのですか。

事務局： 建物の維持管理については、東図書館でライブラリー、コミュニティーセンター、サポートセンターを含め全体を一括して管理することにより効率化を図っています。更に、現在、3年を懸けて建物の延命効果を図るための診断とその都度適切な処置を行っております。また、エネルギー開発庁の補助金をいただき、エネルギーの効率化にも取り組んでいます。

なお、先程のライブラリー歳出予算に建物の管理費は入っておりません。

委員長： 他に意見等がないようでしたら「(3)の委員提案事項」に移ります。委員の皆様から何かご提案等があればお願いします。

各委員： (特に発言等無し)

今、まとまらない、思い付かないという事であれば、いつでも結構ですので、事務局へ随時ご提案いただけますようお願いします。

委員長： 「(4)その他」で委員の皆様及び事務局から何かありますか。

事務局： 次回会議の開催日程については、来年2月に第2回目を考えています。具体的な日程につきましては、委員長と協議して、改めて皆様にご通知を差し上げたいと考えていますが、いかがでしょうか。

委員長： 次回会議の日程について、そのような取扱いでよろしいですか。

各委員： (「結構です。」との声あり)

委員長： 次回の会議日程については、事務局と調整して、後日、委員の皆様にお知らせします。他になければ、これをもって本日の運営委員会の審議を終了し、閉会とします。委員の皆様のご協力を感謝いたします。